

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 6年 3月 5日

公表:平成 6年 3月 29日

事業所名 放課後デイときわsun

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動に応じて法人内のこども園の園庭や遊戯室を使用している	
	2	職員の配置数は適切である	○		法令遵守の職員配置をしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		賃貸施設であり、バリアフリー化の対処予定はしていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日のミーティングにて情報交換・振り返りを行い、業務改善に繋げています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート実施の結果をもとに業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			HPで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価はおこなっていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修、リタリコ研修ナビの活用、外部講師を呼び研修をしている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用児童一人ひとりに対し、定期的に支援会議を実施し、計画の作成をしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートをもとに聞き取りをしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		それぞれ意見を出し合って立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用児童の特性に応じて工夫しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		当日の支援後は、送迎等がある為行えないが、共有連絡事項の用紙に記入しておき、翌日振り返りの時間を設けている。緊急の場合は、メール等を活用して共有できるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				
関係機	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、該当児童はいないが、受け入れの場合には、主治医等と連絡体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		現状、行っていないが、必要に応じて情報共有を行っている。

関 連 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在該当の児童がいないが、必要に応じて情報共有を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		相談支援センターの専門講師を招いて、助言を受けたり、研修開催を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		支援準備等で、人員を割く事が難しく積極的な参加が出来ていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者の困りごとに対して、助言を行ったり、面談の機会を設けているが、ペアレント・トレーニングまでには至っていない。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		講師を招き、保護者同士の悩み等を共有し、進路について等必要な情報を発信できる機会を設けた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		
	35	個人情報に十分注意している		○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民を招待しての行事は開催していないが、近隣の店舗への買い物体験を通して地域の方との交流が出来るようにしている。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		職員間では、マニュアルの定期的な確認、保護者には重要事項説明書で周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		現在、必要な事例はないが、身体拘束適正指針に基づき、会議、研修を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在、該当児童はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		